

## テーマ：構成遊び

### テーマを設定する

日頃小さな構成遊びは、自由遊びの中で見られているので、さらに子どもたちの自由な発想や想像力、じっくりと遊び込む力を育てていくため

### 活動① 好きなものを自由に作ってみる

○保育者があらかじめ作ったものを置いておき、興味をもって自由な発想で作るための活動を行った。

	活動内容	時間/回	人数/回
①	保育者作ったものを展示しておく 好きな物を自由に作ってみる	40分程度	24人
②	見本をいくつか掲示して作ってみる	40分程度	5~10人程度
③	カプラを使って組み立てる以外の遊びをしてみる	40分程度	5~10人程度
④	複数人で集まり作品を作って展示する	40分程度	3~5人程度
⑤	カプラ以外の物も組み合わせて 自由に遊ぶことを楽しむ	40分程度	5~10人程度

○準備したもの

環境をデザインする

保育者が作った作品・カプラ・広いスペース



## テーマ：構成遊び

### 探究活動を実施する

#### ○活動内容

- ・保育室内に保育者がカプラの作品を作って展示しておく
- ・カプラのみの時間を設けて、やりたい子が自由にカプラ遊びに取り組めるようにした

#### ○子どもたちの様子

- ・3歳児は平面での作品を作り、自分の手や顔を表現していた。また、年上児が作っているのを見て同じものを作ろうと模倣して作っていた。
- ・4、5歳児ははじめは一人で作り上げていたが、次第に周りの子に声をかけて一緒に作り上げたり、自分から興味がある作品の子の所について仲間に入っていた。しかし上に積み上げる（鑄型・円形）のみの遊び方しか見られていなかった。

### 振り返りを踏まえた気づき

#### ○園の先生から

- ・自由な発想のもとで作っていったが、予定していた時間よりも「もっとやりたい!」と集中して楽しんでいた。ひたすらに高く積み上げることにやる気を出していて、椅子を使ったり、背が高い子に頼んだり子供たちなりに工夫する姿が見られていた。
- ・保育者の作品があったことで興味を持つと想定していたが、そのほとんどが5歳児だったので、3歳児へのアプローチの仕方も考える必要があるのではと感じた。



# テーマ：構成遊び

## 活動② 見本を見ながら作ってみる

活動①の様子を踏まえて、設計図や完成された作品の写真を見ながら作ってみる

### 探究活動を実施する

#### ○活動内容

- ・ 作り方や完成図が乗っている写真を数種類用意して、好きなものを選んで作ってみた

#### ○子どもたちの様子

- ・ 図を見ながら、子どもたちで相談し合いどんな構造になっているのかを考えていた。
- ・ 自然と数人で集まって作るような流れになり、その中で「カプラを箱からもってくる子」「この部分を作る子」など自然と役割ができていっていた。
- ・ 同じ写真を見ていても完成したものに若干の違いが出ていて、そこに気づいて「こうしたらいいんじゃない？」と子ども同士で考える姿もあった。
- ・ 図で見た積み方を応用してオリジナルのものを作る子もいた

### 振り返りを踏まえた気づき

#### ○園の先生から

- ・ 図をみて構造を理解しようとする姿に、真剣さを感じた。また違うときには「ここはこうじゃない？」と自分の考えを伝えるいい機会にもなっていた。
- ・ 得意な子は当然のように作り進めていたが、その子を頼って聞きに来る姿もあり、その子にとっての活躍の場を作れていた。
- ・ 作った子の写真を掲示してあげることで、参加していない子でも誰が作ったのかもわかり、尊敬につながっていた。

### 環境をデザインする

- 準備したもの  
設計図・写真・カプラ・広いスペース



## テーマ：構成遊び

### 活動③ 組み立てる以外の遊び方をしてみる

積んで遊ぶ楽しみを知ったので、積む以外の遊び方・楽しみ方も知っていく

### 探究活動を実施する

#### ○活動内容

・積んで遊ぶ以外にも、カプラを使ったゲーム遊びや活動に触れていき、よりカプラに興味関心を持ち、発想を広げていく

#### ○子どもたちの様子

- ・どんなことをしたいのかを子どもたちで話し合いをした。「〇〇が作りたい！」と意見がでるなかで、積まないで遊ぶものを選択。
- ・カプラを宝に見立てて「宝さがし」をしたり、板に積んでたくさん運ぶのを楽しんでいた。2回目に積み方を考えてみるように伝えると、きれいに重ねることでたくさん運ぶことに気が付いていた。
- ・プールを作る子たちと、温泉を作る子に分かれていたが、作り進めていくうちにくっついて遊びが繋がっていった。

### 振り返りを踏まえた気づき

#### ○園の先生から

- ・「カプラでゲーム遊びをする」という言葉にとっても反応して喜んでいて、内容まではうまくイメージできていないようだった。こんな風にやるよと伝えると楽しみながら参加出来ていた。
- ・たくさん運ぶためには…を考えた時に、前回作った作品を思い出して積み始めた子がいたので、取り組みが活かされていると感じた。
- ・プールを作った際には、今までの積み方なども出てくるかなと思ったが、平面で大きく作っていたので、まだアイデアとしては定着していないと感じた。

### 環境をデザインする

#### ○準備したもの

カプラ・広いスペース・板・スケーラ



# テーマ：構成遊び

## 活動④ 複数人で集まって作品を作り展示する

友だちと協力して考えながら作ったものを展示して  
様々な人たちに見てもらおう喜びや達成感を感じる

### 探究活動を実施する

#### ○活動内容

・自分たちの発想の中で、友だちと力を合わせて作り上げていく  
難しさや楽しさ、それを見てもらう喜びや達成感も感じていく

#### ○子どもたちの様子

・カラーカプラを初めて出したのでとても興味を持ち、作る時も積極的に使っていた。

・「東京タワーをつくりたい！」と作り始めていたが、先にカラーカプラをほぼ使い切ってしまう、色をつけたいと悩んでいたが、崩したくはなかったようで、通常のカプラで作り続けた。

・始めは一本で高く使用したが、以前保育者が作ったものを思い出し、4本の柱を作ることになった。そこに板を挟むことで安定して重ねられることを経験から導きだし、それぞれの柱においていた。

・20分ほどで他の子は満足してやめていたが、話し合うときに東京タワーに乗り気ではなかった子が、最後までつくりあげた。

### 振り返りを踏まえた気づき

#### ○園の先生から

・柱として組み立てたやり方は、鋳型だったのがこの組み方が一番崩れにくいと考えたのかと思った。また、東京タワーを発案した子はある程度で満足して終わっていたが、他の物を作りたい子が、作っていくうちにこだわりだして最後まで作り続け完成させていたので、カプラの楽しさを感じたように思った。

・色がつくことで、子どもたちの意欲にも変化が出たり、見た目的にもこだわろうとする姿が見られて良かった。

### 環境をデザインする

#### ○準備したもの

カラーカプラ・広いスペース・板・アーチレインボースケータ

東京タワーが作りたい子



他のものを作りたい子



## テーマ：構成遊び

### 活動⑤ カプラ以外の玩具も組み合わせて作り上げていくことを楽しむ

カプラに他の玩具を+αしていくことで遊び方が広がっていく楽しさを知っていく

### 探究活動を実施する

#### ○活動内容

- カプラで作りにていく中に、他の玩具も取り入れて遊びの幅を広げていく

#### ○子どもたちの様子

- 人形や動物、積み木などが加わると、そこからイメージが広がったようで「ここが〇〇ね!」「ここには〇〇をつくらう!」という会話が聞こえてきていた。
- 作り進めていく中で、イメージが共有されることで遊びが合体したり、さらに広がりを見せていった。
- 積むというよりは平面に作っていく事がメインとなっていた。
- 前回よりも集中して遊びこむ時間が伸びていた。

### 振り返りを踏まえた気づき

#### ○園の先生から

・+αすることで世界観が広がっていく様子が見え、子どもたちからも楽しさが伝わって来ていた。また作っていく中で物語が出来上がったり、子どもたちで自然と設定を考えていて、想像する世界が広がった。

・ただ積み方の広がりとはそこまで見られていなかった。自由な発想やじっくりと遊びこむことに関しては成果がみられていたように思う。十分に展示してあげられるようなスペースを確保してあげることでさらに意欲や取り組み方に進歩が見られたのかと思う。ただ、目にする機会が増えたためか、今まで手にしなかった子たちも遊んでみる姿があり、全体への良い影響にもなったのではないかと考える。

### 環境をデザインする

#### ○準備したもの

カプラ・広いスペース・動物フィギュア  
アーチレインボー・人形・トミカ・積み木

